

平成18年 9月 8日

# 能代山本だより

第24号

暑かった8月が終わり、9月に入ったら、朝夕はぐっと涼しくなりました。田植えが遅れ、梅雨明けも遅く、穂がでるのが例年より一週間以上遅れていたことで、稲の生育が心配されていましたが、ここに来て、ようやく平年並みに近づいてきました。聞くところでは、早い農家で、来週末から稲刈りを始めるところがあるそうです。

能代や峰浜のナシ畑で収穫が始まりました。ナシもいつもの年より10日くらい遅れています。早い品種の「多摩」はもう終わりましたが、これから、「幸水」「秀玉」が出ます。今月下旬ころには「豊水」や能代山本特産の洋ナシ「日面紅」がでます。10月中旬には、「かほり」「新星」といった新しい品種も出ます。

「日面紅」(フレミッシュ・ビューティ)は食べ頃の見極めがちょっとという人がいますが、同じ洋ナシ系の「ラ・フランス」よりも美味しいと思うのは、私だけでしょうか。

最近能代で作られている品種で、「シルバー・ベル」という洋ナシがあります。12月に収穫されるもので、クリスマスの直前が良いとされています。

昔ながらの「長十郎」もまだ作られています。

【ナシの問い合わせ】

能代 能代市果樹協会 0185-52-0881 (会長 藤田果樹園)  
峰浜 八峰町産業振興課 0185-77-2111

## イベント

人気高まり、継続を確認 / 能代港花火

6-9-1

能代港まつり花火大会実行委員会(委員長・山木雄三能代商工会議所会頭)の反省会は8月11日、能代商工会館で開かれました。4回目の大会は観客数12万人と昨年来を2万人上回り、「年々人気が高まる県内有数の花火イベント」と集約、継続開催の意向を確認しました。課題では、駐車場や会場周辺のごみ対策、帰途の混雑解消、さらには人気の高まりに呼応した県内外からの誘客対応などが出されました。

10月にエコタウンフェスタ / 能代

6-9-2

「環境」をキーワードに地域づくり、資源循環型産業の振興などを考えようという「エコタウンフェスタ in 能代」の開催概要がほぼ固まりました。市総合体育館をメイン会場に、産業フェア(10月21、22日)と同時開催とし、同フェア会場での環境展や体験コーナーをはじめ、エネルギー問題をテーマとしたシンポジウム、自然保護団体の活動報告、子どもたちの環境学習の発表、ごみ分別の“実践”など、さまざまな視点から「環境」をとらえる催しを企画、「環境のまち」をうたう新・能代市の市民の関心を喚起していきたい考えです。

### 花みこしが初参加 / おなごりフェス

6-9-3

「2006 おなごりフェスティバル in 能代」は、9月9日に能代市の畠町通りをメイン会場に開かれます。毎年、東北地方を中心に全国から多彩な祭りが集結し、能代の夏の終わりを彩る同フェス。今年は、初登場の岐阜県美濃市の「花みこし」や、常連の秋田竿燈、青森ねぶたなど九つの祭りが参加します。昨年は約20万人（主催者発表）を動員しましたが、あいにくの雨にたたられたこともあり、関係者は「準備は整った。あとは好天を祈るだけ」と話しています。

## 能代の食・農・魚の話題

### 障壁作物の実証試験 / 市農業技術センター

6-9-4

能代市農業技術センター（木村清幸所長）で今、実験圃場を囲むように植えられた障壁作物・ソルガムが穂を出しています。四国などを中心に西日本では障壁作物として取り入れられているが、東北ではまだ珍しいとされ、ポジティブリスト制度に対応する作物として効果が期待され、同センターでは今年の実証結果をみて農家にも紹介することにしています。

### 県北、「平年並み」確保 / 水稻

6-9-5

東北農政局秋田統計・情報センターは8月29日、18年産水稻の作柄概況（15日現在）を発表しました。本県の作柄は「平年並み」の見込みで、県北地帯も「平年並み」を確保しました。今夏の高温多照について同センターは現在までのところ「プラスに作用している」との見方をしています。

## 白神関係（能代港）

### 海からの白神は格別 / モニタークルーズ

6-9-6

能代港みなと観光交流促進協議会のモニタークルーズは31日から始まり、この日は能代港から秋田・青森県境沖までのコースで行われました。同協議会は新たな観光企画としてクルージングを検討しており、まず委員が体験しようと初めて実施しました。委員は遊漁船に乗って、海上から見る白神山地の雄大さを肌で感じる一方、出航時間やガイドの内容などについて考え、今後のクルージングの在り方を模索しました。モニタークルーズは、乗船者の感想や意見から運航上の課題などを把握することが狙いで、10月まで計8回予定されています。

## 子ども・教育・学校

### 第四小の改築計画示す / 能代市

6-9-7

能代市教委は、旧能代市が次の改築校と位置付けていた第四小について、校舎は20年度建設に着手し22年4月供用開始とするスケジュールをまとめ、8月25日の市議会文教民生委員会説明会に示しました。体育館は21、22年度の2カ年で整備するとし、校舎建設より1年ずらしています。概算事業費は共同調理場なども含め31億2千万円で、合併特例債の活用を想定しています。「20年度着工」は二ツ井地区の統合小学校建設と同時進行で、今年度は両校のプロポーザル競技などを行うとしています。

## 木・木材

### 公共建築物を産学官連携で / 能代市

6-9-8

能代市公共建築物整備産学官連携研究会の初会合は8月4日、同市海詠坂の県立大木材高度加工研究所で開かれました。建て替えに迫られている市営住吉町住宅の多層階木造等共同住宅の研究と、浅内小学校を事例とした地元産材の活用状況などの検証の2テーマに取り組みます。

### 木都能代の「技」の見学 / 木材学会

6-9-9

日本木材学会の研究会会員が8月10日、能代市を訪れ、国登録有形文化財の「金勇」と天然秋田杉の製材所である同市河戸川の渡辺事業所を訪れ、今となっては貴重な天杉がふんだんに使用されている建築様式と、製材所に伝わる伝統の技術を見学しました。能代市を訪れたのは、日本木材学会内の研究会である「組織と材質研究会」。同学会の大会が8日から10日にまで秋田大学で開かれていましたが、同研究会は大会後の研修会場として能代市を選択しました。

### 秋田杉製品を全国へ / 能代商工会議所

6-9-10

能代商工会議所のJAPANブランド育成支援事業「秋田杉ブランド推進委員会」が、8月29日に発足し、会長に山木雄三同会議所会頭を選出しました。秋田杉を利用した木製品の高付加価値化に向け、ブランド化のための戦略を策定・実践します。小委員会に市営住宅の木造化を働き掛ける木造公営住宅推進調査研究会を組み込み、ワーキンググループは、インターネット上での木造住宅の展示会など地場産材の特徴を強くアピールする商品（住宅）の普及促進を図ります。

## スポーツ・文化

### 能工高の3選手出場 / バスケU-18

6-9-11

能代工高の選手3人が出場する18歳以下(U-18)の「第19回FIBAアジア男子ジュニアバスケットボール選手権大会」の概要が決まりました。日本は予選グループCに入り、中国、ホンコン・チャイナ、キルギスタンの3チームと対戦します。日本代表は選手12人で構成され、能代工からは同校主将のガード下山竜良(3年)、ファウードの190センチ長谷川技(2年)、198センチ満原優樹(同)が選抜されました。一つの高校から3選手が選ばれるのは、近畿インターハイ準優勝の洛南(京都)、同8強の福岡大付大濠(福岡)の2人を抜いて最多です。

## 暮らし

### 能代の2団体受賞 / 18年度県環境大賞

6-9-12

県は、今年度「環境大賞」を発表し、能代市からごみゼロ運動推進交流会議、二ツ井町連合婦人会の2団体が受賞しました。表彰式は9月2日に秋田市で開かれるあきたエコ&リサイクルフェスティバルで行われました。環境保全に関する実践活動が他の模範となる個人・団体を10年度から表彰しており、今年度は13点の応募があり、選考委員会で5団体が「環境大賞」に決まりました。

### 琴丘能代道路、姥懐橋連結近づく

6-9-13

琴丘能代道路能代東 IC (インターチェンジ) ニツ井 (仮称) IC 間の姥懐 (うばふところ) 橋は、架設工事が進み、間もなく連結されます。橋の順調な仕上がりは、同区間の 19 年国体前・開通目標がより現実的になったと受け止められそうです。同道路は、三種町鹿渡から能代市ニツ井町駒形に至る延長 33.8 キロ。鹿渡の琴丘森岳 IC 能代南 IC 間の開放に続いて先月 29 日には能代南 IC から東に延びる能代東 IC までの 6.7 キロが開通、現在は能代東 IC ニツ井 IC 間の 10 キロを残すだけで、姥懐橋はこの未開通区間で架設工事が行われています。

### 能代山本の人口減、15 ヶ月連続に

6-9-14

県調査統計課がまとめた 8 月 1 日現在の「人口と世帯数」によると、能代山本の人口は 9 万 5491 人、世帯数は 3 万 3988 世帯となり、前月から人口は 73 人減ったものの、世帯数は 23 世帯増えました。能代市の人口は 6 万 2302 人で前月比 21 人減、山本郡は 3 万 3189 人で同 52 人減で、市は 15 カ月連続、郡は 53 カ月連続、郡市全体では 15 カ月連続の減少となりました。郡市の世帯数は 4 カ月連続で増加し、市が 2 万 3240 世帯で前月から 30 世帯増えましたが、郡は 1 万 748 世帯と 7 世帯減りました。

### 高齢化率 30.9%、最高を更新 / 能代山本

6-9-15

県長寿社会課は 8 月 31 日、18 年度高齢者人口調査の結果を発表しました。7 月 1 日現在、能代山本 4 市町の総人口に占める 65 歳以上の割合は、前年度を 0.7 ポイント上回る 30.9% となり、高齢化率は過去最高をさらに更新しました。市町別では藤里、三種、八峰 3 町で 3 割を超え、能代市もこの「大台」が目前。最も高い藤里の 36.1% は全県 25 市町村の中で 2 位。上位 10 自治体に 3 町が入り、圏域の高齢化を印象付けています。能代山本の総人口は男性 4 万 4362 人、女性 5 万 1202 人の計 9 万 5564 人。65 歳以上人口は男性 1 万 1532 人、女性 1 万 7979 人の計 2 万 9511 人。総人口が 2407 人減った半面、65 歳以上人口は 509 人増えました。男女別の高齢化率は男性 26.0%、女性 35.1%。市町別の高齢化率は能代 29.9%、藤里 36.1%、三種 31.7%、八峰 33.4%。合併前の市町村を現在に置き換えて前年度と比較すると、能代が 0.6 ポイント、藤里が 0.4 ポイント、三種が 1.1 ポイント、八峰が 0.4 ポイントいずれも上昇し、全県順位では 2 位の藤里のほか、八峰が 6 位、三種が 8 位、能代が 15 位。県内 13 市の中で能代は 5 番目に高いです。

## 自然

### 県境付近まで北進 / 松くい虫

6-9-16

県は 8 月 2 日、青森県との県境から約 250 メートルの地点の八峰町 (旧八森町) で松くい虫の被害木が確認されたと公表し、県境付近に防除帯を設定するなど対策を強化する方針を示しました。松くい虫被害の北限の自治体となっている八峰町では 14 年度に滝の間地区でマツノザイセンチュウが見つかって以来で、被害は約 4 キロ北進したことになります。

## 行政

### 指定管理者は 20 年度を示唆 / 能代市

6-9-17

能代市の臨時議会は 8 月 31 日開かれ、今年度一般、介護保険特別両会計の今年度補正予算案を審議、原案通り可決しました。能代地区の福祉施設 5 カ所について 9 月からの指定管理者導入を見送り、市直営とし介護等の業務のみを市社会福祉協議会に委託することに伴う予算計上で、審査の過程で市当局は「19 年度当初からの（指定管理者制度への移行は）かなり厳しい。可能な限り早めに移行したい」との認識を示した上で、「『年度初め』が基本的な考え方としては、ある」と 20 年度からの導入を示唆しました。

### 「赤字隠し」はなし / 県内市町村

6-9-18

北海道夕張市が「赤字隠し」のため一時借入金を不適正に運用していた問題で、総務省の依頼を受けて県が実施した調査結果がまとまり、8 月 4 日発表しました。能代山本 4 市町を含む全 25 市町村に不適正な運用はなかったと判断しています。県は「各調査項目とも比率が著しく高い団体はなく、県平均以上の団体も正当な理由があり、一時借入金を利用した不適正な運用による『赤字隠し』を行ったと見受けられる市町村はなかった」としています。

### 統合小校舎、22 年春の供用開始 / 能代市

6-9-19

能代市議会全員協議会は 8 月 8 日、市役所二ツ井町庁舎大会議室で開かれ、市当局は二ツ井地区の統合小学校の校舎について、旧二ツ井町の方針を踏襲し同庁舎に隣接する上台地区を建設候補地に挙げ、20、21 年度の 2 カ年で校舎・体育館を建設、22 年 4 月供用開始とするスケジュールを示しました。供用開始は旧町計画（20 年度下期）から 1 年半ずれ込むが、4 校の 1 校統合は 20 年 4 月のまま変更せず、新校舎供用開始までは現在の二ツ井小校舎を利用する方針です。また、旧能代市で次の改築予定校としていた第四小の改築も「同時に進めていきたい」との考えを明らかにしました。両校の建設・改築に向けた関係予算を 9 月定例議会に提出する予定です。

### 新市の行革へ動き出す / 能代市

6-9-20

市当局が 9 月公表を予定する集中改革プラン、来年 1 月決定を見込む行財政改革大綱の策定方針などを説明しました。行革大綱は「自律する都市をめざして」を目標に設定、18～24 年度を計画期間に設定しています。集中改革プランは新市の行革大綱の一部を具体的に示す計画だが、“締め切り”が間近なため行革大綱に先行して作成するとし、次回から意見交換に入ります。

### 二ツ井に地域協議会設置 / 能代市

6-9-21

能代市は 8 月 24 日、旧二ツ井町の住民の声を市政に反映させるため、地域協議会を設置しました。民間委員で構成し、会長には安井和則さん（二ツ井町商工会長）、副会長には成田正文さん（公募委員）を選出しました。年に 4 回程度協議会を開き、二ツ井地域の発展を目指したまちづくりなどを協議します。旧能代市と旧二ツ井町が合併し、二ツ井地区には地域自治区が設置されました。二ツ井町庁舎には行政職員が勤務する二ツ井地域局が配置されたが、市では地域の問題や今後のまちづくりなどについて民間人が話し合う場として地域協議会を設置し、地域協議会は 15 人で構成されてい

ます。内訳は地域の推薦6人、公共的団体の推薦3人、有識者3人、公募3人。地域の推薦は富根、種梅、響、二ツ井、荷上場、天神の6地区から各1人としました。

#### 単独は190件、3億円に / 能代市補助金

6-9-22

能代市が今年度、各種団体に交付する市単独補助金は、190件・総額3億791万4千円（一般財源ベース、本予算計上分）で、17年度旧能代市、旧二ツ井町の当初計上合算額に比べ12件減、4320万6千円の増加となっています。新規は12件・4411万3千円の計上で、旧市・町から継続する補助・助成が大半を占めるが、合併後も厳しさを増す市財政を背景に洗い直しにも迫られそうです。

#### 「今年は大ナタ振るえず」 / 斉藤市長

6-9-23

能代市の斉藤市長は8月29日記者会見し、10億円規模となった一般会計補正予算案に関して、「財政は大変厳しいものがあるが、合併協議で話し合われてきた合併不安、激変緩和措置のような要素も加味しながら編成した」と説明、今後の課題に財政問題を挙げ、「今年はある意味で大ナタを振るえないところもある。来年度以降、合併のメリットを出していくかが大きな課題」などと述べました。また、新市が各部に配置した参事によるチームを設置、大型店と中心市街地活性化、少子化問題を“2大テーマ”に検討を始めたことも明らかにしました。

## その他

#### 柳町通り、下落さらに / 最高路線価

6-9-24

仙台国税局は8月1日、相続税や贈与税の算定評価基準となる18年分路線価を発表しました。能代税務署管内の最高路線価は、能代市「柳町通り」の1平方メートル当たり6万1千円で、前年より9千円ダウン、下落率は過去最大の12.9%となりました。郊外型大型店の進出により中心市街地の空洞化が進み、下落に歯止めがかからない状況が浮き彫りになっています。

#### 姥懐橋で連結式 / 琴丘能代道路

6-9-25

琴丘能代道路の来年度開通区間に位置する姥懐橋（うばふところばし）の連結式が8月22日、能代市姥懐地内の現地で行われ、関係者は神事で橋げたの連結終了を祝い、残工事の無事故を祈念しました。姥懐橋は、7月29日に開通した能代東IC（インターチェンジ）から東進する二ツ井（仮称）IC間＝延長10キロ＝の中間に位置し、橋長は340メートル。市道町後旭沢線と姥懐川を16階建てのビルの高さに匹敵する地上約50メートルでまたぎます。

#### 就職活動では「地域性」「職種」を重視

6-9-26

能代山本雇用開発協会は今春実施した「新入社員意識調査」の結果をまとめました。働く最大の目的が「生活（収入）のため」と現実的な考えを持つ一方で、就職活動で重視したのは「地域性」「職種」と地元や仕事にこだわりを持つ若者の姿が浮かび上がりました。中央では景気回復がささやかれるが、以前、地元経済は厳しさを脱しておらず、経済的な不安を抱えながらも仕事にやりがいを求める現代の若者像を浮き彫りにしました。

17年の観光客は342万人/能代山本

6-9-27

県がまとめた17年県観光統計(観光客入り込み・動態調査)によると、能代山本を訪れた観光客は延べ342万1889人で前年に比べて14万5717人、4.4%増加しました。過去5年間では能代市で県種苗交換会があった15年に次ぐ観光客数だが、県内9圏域の中では前年と同じ7番目に位置し、宿泊客に至っては相変わらず少なく最下位となっています。

## お知らせ

### ブログ 『能代でらっと情報』

能代の最新的话题を毎日、**ブログ**で発信しています。

お近くのパソコンでぜひご覧ください。

《1》 検索サイトから

[Google](#) (グーグル) [Infoseek](#) (インフォシーク) [goo](#) (グー)

[Excite](#) (エキサイト) [Yahoo](#) (ヤフー)

検索『能代でらっと情報』と入れて、検索してください。

《2》 能代でらっと情報のURL

[http://blog.livedoor.jp/noshiro\\_kanko/](http://blog.livedoor.jp/noshiro_kanko/)

《3》能代市のホームページ 能代の観光からもブログに入れます。

検索サイト

能代市

観光情報

能代地域

能代市観光

能代でらっと情報

能代PR大使のみなさんの近況や身近な話題、気が付いたことなど遠慮なくお知らせください。

能代山本周辺、秋田県や県北地域のことについて、知りたいこと、尋ねたいことなどありましたら、いつでも気軽に問い合わせください。

## 能代 P R 大使から

(項 目)	(能代 P R 大使)
(内 容)	

F A X	0 1 8 5 - 8 9 - 1 7 7 6
-------	-------------------------

電話番号	0 1 8 5 - 8 9 - 2 1 7 9
------	-------------------------

E メール [syokou@city.noshiro.akita.jp](mailto:syokou@city.noshiro.akita.jp)  
[kouki-ebisuya@city.noshiro.akita.jp](mailto:kouki-ebisuya@city.noshiro.akita.jp)